

新にいがた

戦争法案廃止で力合わせ

憲法センターが集会・デモ

2015年5月24日(日) 第1812号
発行所 新にいがた 長岡市曲新町1-12-14 ☎025(247)6366
毎月第4日曜日 定価150円(送料50円)1966年7月22日 第三種郵便物認可

戦後最悪の憲法破壊

安倍内閣の戦争法案に反対して、憲法を守る新潟県共同センターは15日、新潟市で昼集会とデモ行進を行い、200人が参加しました。

主催者の青木敦志新商連事務局長は「閣議決定された法案は、読めば読むほど米軍との戦争に巻き込む戦争立法そのものだ。力を合わせ廃案に追い込もう」と訴えました。



戦争法案阻止で唱和する集会参加者=15日、新潟市

連帯して県憲法会議の金子修弁護士は「法案は、集団的自衛権行使で自衛隊をいつでもどこでも、外国の戦争に巻き込むもの。声を大にして言いたい。いままぜ法律が必要なのか。なぜ急いで成立させようとするのか。国民をばかにした法案を連帯して阻止しよう」と訴えました。

会長は「安倍内閣の暴挙に勝たなければならぬ。最後までたたかい、廃案にしよう」と決意表明しました。

集会には、日本共産党の西澤博参院選挙区候補、渋谷明治県議、市議団らが参加しました。

戦争法案許さない

日本共産党各地で宣伝

日本共産党新潟県委員会では14日、安倍内閣の戦争法案閣議決定に反対して、樋渡士自夫県委員長を先頭に各地で宣伝を行いました。

新潟市では、党新潟地区委員会が宣伝・署名行動に取り組み、田中眞一地区委員長、飯塚孝子、野本孝子、平あや子、倉茂政樹の各市議も参加しました。各氏らは「日本が攻撃されてなくても、自衛隊が米軍と海外で戦争をしようとする法案です。子や孫、若者を



次々署名に立ち止まった党新潟地区委の宣伝=14日、新潟市

戦争に参加させてはなりません。ともに反対の声をあげましょう」と訴えました。

署名した、息子が自衛隊員だという母親は「息子を含め、自衛隊員が戦争に参加するというのが現実の問題になってくる。やめてほしい」と訴えました。

40代の女性は「安倍首相はなんでも自分の考える通りにやれると」

思うとくやしい。もし自分の息子が戦争に行くことになったらと思うとたまらない」と怒りました。

男子専門学生(19)は「どんな戦争でもいいことはない。戦争は決してやってはいけない」と話し、80代の女性は「戦争中は商売をしていたが、最後には人に物資を供出した。戦争はもうこりこりだ」と語りました。

戦争から表現の自由を守る

美術九条の会賛同者発表

「九条の会」アピールをひろげる新潟県美術の会(新潟県美術九条の会)は7日、同アピールに賛同する県内の美術家らが同日までに87人になったことを記者発表しました。

アピール賛同者に名を連ねたのは、豊口協前長岡造形大学学長や丸岡稔前長岡美術協会会長、堀川紀夫、前山忠、村山陽の各氏(ともに上越市)、新潟大学の柳沼宏寿、佐藤哲夫の両教官、大倉宏(美術評論家)、長谷部昇、石井博、佐藤光堂の各氏(ともに新潟市)など著名な美術家らも入っています。

県庁での記者会見には、会の事務局を務める小林春規氏(版画家)、星野金司氏(画家)、高橋武昌氏(小さな美術館・季館主)、工藤和雄氏(県9条の会事務局長)らが参加しました。

参加者は、平和と自由こそかけがえのない表現の保障であり、安倍政権が戦争立法を進めようとして、これが侵されようとしている今こそ、9条を守る呼びかけ文への賛同を多くの美術家に広げたいと強調。来年の憲法記念日のころに、県九条美術展開催を検討していると紹介しました。

いっせい地方選後半戦 5市2町村で13氏全員当選

長岡市で4減の中4人全員当選 新発田市も3人全員



全員当選を報告し、公約実現を訴える長岡市議団＝4月27日

4月26日投票のいっせい地方選後半戦では、日本共産党は、立候補した5市2町村の13氏が全員当選しました。

長岡市議選（定数34、4減、立候補40人）では、県議選で惜敗したくやしさをばねに奮起し、現職の笠井則雄（66）、諸橋虎雄（70）、細井良雄（66）の3氏がそれぞれ6位、13位、27位で当選。新人の服部耕一氏（45）も最下位で当選し、4議席を確保しました。

新発田市議選（定数27）では、現職の佐藤真澄（65）、加藤和雄（63）、宮村幸男（70）の3氏が当選し、3議席を確保しました。

柏崎市議選（定数26）では、持田繁義氏（60）＝現＝、五位野和夫氏（53）＝元＝が当選し、2議席を確保しました。

小千谷市議選（定数16）では、現職と交代した内山博志氏（63）が当選し1議席を確保。加茂市議選（定数18）では、現職の亀山



3人全員当選した新発田市議団

重光氏（65）が1議席を確保しました。湯沢町議選（定数12）では、現職の佐藤守正氏（77）が1議席を確保。刈羽村議選（定数12）では、池田力氏（63）＝現＝が1議席を確保しました。

長岡市、新発田市、小千谷市、加茂市は得票、得票率で前回より伸ばし、長岡市、新発田市は昨年の衆院比例票より増やし、長岡市では、得票率が10%を超えました。

長岡市議選は、定数が4減され、新人が多数立候補し、6人オーパーの激戦となりました。服部氏は、病気で交代する現職を引き継ぎ、立候補表明したのが1月。活動期間がき

わめて短く困難な状況でしたが、党員・後援会員が結びつきへの「2票、3票広げて」の訴えや、電話での「声の全戸訪問」の活動を最後まで必死に行い、次点の候補と122票差で競り勝ちました。得票は全体で1602票、得票率でも1・57%増やし、10・39%となりました。

27日、街頭で選挙結果を報告した市議団長の笠井氏は「パワーアップした市議団の力で、原発再稼働中止、戦争立法阻止で頑張っていく」と力説。新人の服部氏は「公約した暮らし最優先の市政実現で頑張っています」と決意を述べました。

みさんは「定数減の中で全員当選したことはうれし。議案提案権を活用し、原発再稼働中止などで頑張りたい」と語りました。

切実な県民の願い届ける

渋谷明治(76)新県議が決意

県議選では、日本共産党は5人が立候補し、全員当選して議案提案権確立を目標にたたかいました。結果は現職が落選し、県都の新潟市で新人の私ひとりの当選となりました。

さっそく選挙区外なのに、3人の方から当選して本当によかったと電話がありました。そんな話を聞くと、責任の重さを痛感し、なんとしても期待に応える活動をしなければならぬと思っています。

選挙中は、「消費税増税で暮らしは大変で限界」「柏崎刈羽原発再稼働をなんとかして止めてほしい」「戦争への道は繰り返さない」など、有権者から

切実な声と期待が寄せられました。私が強く訴えた政党助成金廃止にも多くの共感がありました。

当面の目標は、公約である県民の願いを請願にまとめ、県議会に提出すること、その請願の審議内容を県民に報告し、要求実現に全力を尽くす決意です。

この活動の中で党勢力拡大を行い、来年の参院選挙の比例代表で、私の地域の新潟市東区で、第一党をめざして活動を行うことです。

そのためには、東区全域で街頭演説を徹底して行い、有権者一人ももれないほど、日本共産党のめざす日本、政策や理念などを分かってもらえるまで行いたいと思っています。

4年後には、少なくとも5人以上の県議団を実現するために全力を尽くす決意です。



2人区で当選した渋谷県議

4年後には、少なくとも5人以上の県議団を実現するために全力を尽くす決意です。

草の根で戦争法制阻止を

上越9条の会が10周年講演会



9条をいかに草の根の運動を誓った講演会＝10日、上越市

上越市の上越九条の会は10日、市内で発足10周年記念講演会を開きました。「九条の会」事務局長の小森陽一東京大学大学院教授が講演し、「熱い講演だった。一人で怒るだけでなく、行動しよう」と心に決めた」との感想など、勇気と奮起が参加者の胸に刻まれる集会になりました。

冒頭、糸魚川市の三線奏者で、沖繩出身の根間邦雄さんの歌と演奏が行われ、初演の「平和の琉歌」をはじめ、優しい歌声と力強い歌の力に、240人の参加者も拍手と手踊りで応えました。

小森氏は「戦争法案を押し返すために憲法9条をいかに草の根の運動を誓った」と題して、現政権が狙う戦争法案がいかに憲法を無視し、国民を戦争に巻き込む体制づくりであるかを条文案に基づいて解説しました。

戦後から今日まで、平和運動と国民世論が自衛隊や改憲策動を制約してきた歴史的事実を具体的に示し、とりわけ、2004年に九条の会が発足して以来、全国各地に地域九条の会が自主的に設立され、地道に運動を続けてきたことが、08年以降の改憲反対が多数派となる世論をつくり出したと強調。戦争法制化を食い止めるために8月までの短期決戦の覚悟で、各地の九条の会が地域に責任を持ち、県選出国會議員に態度表明を迫るなど、草の根の運動を飛躍的に展開することが決定的に重要だと訴えました。

これに応え、地元の高齢者組合九条の会の長谷川正さんが決意表明しました。

参加者から「歴史的経緯がよく分かり、心に染みる話だった」（50代）などの声が寄せられました。

9条守り、戦争立法許さない

憲法記念日に鳥屋野支部宣伝

新潟市中央区の日本共産党鳥屋野支部と後援会は3日、地域でハンドマイク宣伝をしました。憲法記念日の宣伝は一昨年、昨年に続いて3年目で、日下部秀司支部長をはじめ5人が参加しました。

宣伝の時間帯は、NHKテレビの政治討論番組が放映され、志位和夫委員長が「戦争立法はとんでもない」と鋭い論陣を張っている



草の根から戦争立法反対を訴えた鳥屋野支部

時であり、絶好のタイミングでした。宣伝では「日本共産党は戦前侵略戦争反対を貫き、憲法に国民主権を明記させ、憲法9条を守り、平和で豊かな社会を実現するよう全力を尽くしてきました。安倍政権は連休明けに戦争立法を国会に提案しようとしています。日本が『海外で戦争する国』になるのは絶対許せません」と訴えました。

宣伝中、ドラマイクがクタククションを鳴らして激励しました。参加者は全員3回ずつマイクを握りました。宣伝後、「憲法記念日の宣伝は再来年も再来年もやろう」と話し合いました。

「しんぶん赤旗」大看板設置祝う

新潟市巻支部

新潟市西蒲区の巻支部はこのほど、「しんぶん赤旗」の大看板を設置し、関係者が集まって披露しました。

看板は、北陸自動車道巻湯東インターを出て100メートルの目立つ場所にあり、縦6メートル、幅2.7メートル、「国民の目線で確かな報道」と一緒に政治の刷新を」と「赤旗」をアピールするとともに、安倍政権の戦争法案廃止を意欲して「若者を戦場に送るな！」と書かれています。

設置の発端は、竹内文雄元市議が「赤旗」読者の田辺三天さん(78)に相談したところ、田辺さんが元店舗として使用していた土地と看板外枠を提供してくれたという一気話が進みました。

竹内氏は「海水浴などの観光で若い人も多く高速道で来るので、日本共産党の歴史も分かるようにした」と強調します。

田辺さんは「いま躍進し、期待されている共産党を大いに宣伝してほしい」と思っています。

同支部の亀山淳支部長は「立派な看板に負けないよう、党活動で頑張っていきたい」と決意を語りました。



看板設置を喜ぶ巻支部の人達と田辺さん(左から二人目)

平和の調へて戦争立法阻止

音楽九条の会コンサート



美しい音色を聞き、9条を守る思いを一つにしたコンサート

著名な音楽家らが呼びかけて結成された新潟県音楽九条の会は4月26日、新潟市で8周年コンサート「聞こえ

のな平和な国を誓った9条を守るのが、今の私たちの義務だと思



参加者に感銘を与えた佐藤光堂書展

来場者で最近書を始めたという男性は「字の濃淡の楽しさと奥深さを感じました。見ていて明るく、希望を感じました」と語り

佐藤氏は、最近の書作で一般の人でも読める、漢字仮名交じり書を主眼に書作。「九条の会」アピールを広げる新潟県美術の会発起人になって

九条に鑑(よるい)を着せはならぬ「子供から笑顔を奪ってはない命は宝もの」など、平和や命の大切さを訴

人間・憲法問題で力作

佐藤光堂書展新潟市で開催

新潟市江南区の小さな美術館・季(とき)で、憲法を主なテーマとした「佐藤光堂書展」人間に関する断章

あつて、安倍政権の憲法改悪、戦争立法への動きに憂い、九条は日本と世界の宝物 変えるな壊すな ゆがめるな「憲法を解釈で百八十度変えることはルールの破壊と同じことだ

合唱・えちごコラリアーズが、平和への思いを素晴らしいハーモニ

ラノ)、幾野杏袖早(ピアノ)さんらも演奏。63人の合唱団ピース9が、松浦良治新潟大学名誉教授の指揮で平和の歌を歌いました。

戦争法案阻止を

憲法会議総会

新潟県憲法会議は16日、新潟市で第34回総会と講演会を開き、戦争法案阻止のたたかいの方針と決意を固めました。

新潟県沖縄県人会長の上地源光氏が講演。「辺野古新基地建設反対は政党政派に関わりない県民世論、オール沖縄の意思。沖縄の進路は沖縄県民が決める」と訴えました。

総会では、成嶋隆議長が「安全保障法制関連法案」の説明と「戦争法案」阻止のたたかいの決意を述べました。

憲法闘争を担う全国組織の県組織としての特徴を生かして、憲法センターや9条の会などと連携して戦争法案阻止の県民運動を展開していくこと、青年の参加が多い自主企画としての「憲法カフェ」の継続、ミニ学習会、講師派遣等の地道な活動に取り組んでいくことを提案しました。

社会医療法人 新潟勤労者医療協会
理事長・高橋常彦 〒956-0814 新潟市秋葉区東金沢1459-1 Tel.0250 (24) 5170
下越病院 〒956-0814 新潟市秋葉区東金沢1459-1 Tel.0250-22-4711
舟江診療所 〒951-8011 新潟市中央区入船町3-3629-1 Tel.025-229-3588
介護老人保健施設入舟 〒951-8011 新潟市中央区入船町3-3629-1 Tel.025-229-3588
沼垂診療所 〒950-0075 新潟市中央区沼垂東6-4-12 Tel.025-244-0116
坂井輪診療所 〒950-2054 新潟市西区寺尾東3-8-35 Tel.025-269-6630
おぎの里 〒956-0012 新潟市秋葉区荻野町3-8 Tel.0250-25-3071
ときわ診療所 〒950-0036 新潟市東区空港西1-15-17 Tel.025-274-2714
かえつクリニック 〒956-0836 新潟市秋葉区田家2-1-30 Tel.0250-22-5888
下越鍼灸施術所 〒956-0837 新潟市秋葉区吉岡町18-26 Tel.0250-23-3347
かえつ歯科 〒956-0831 新潟市秋葉区中沢町1-25 Tel.0250-25-5510

ふるさとっ 香り
(香①) 故郷の甥夫婦から恒例の春の贈り物が届いた。新鮮な山菜、手作りの大根干し、不揃いのシイタケなど。胸がキュンとなり目頭があつくなる。(高橋シズ)
地方政治と住民運動の専門誌
議会と自治体
月刊